

## りんどう早生品種「いわて夏のあい」における 千鳥疎植栽培の軽労・増収効果

### 【1 成果の概要】

- (1) りんどうの千鳥疎植栽培は、慣行の株間（18cm）を2倍（36cm）とし、千鳥状に植え、株仕立て本数を20本以上とする栽培方法です（図1）。
- (2) 本方法を「いわて夏のあい」に適用すると、株仕立て時間が慣行比49～70%で軽労化につながります（図2）。
- (3) 商品花本数は慣行比111～157%で増収になります（図3）。

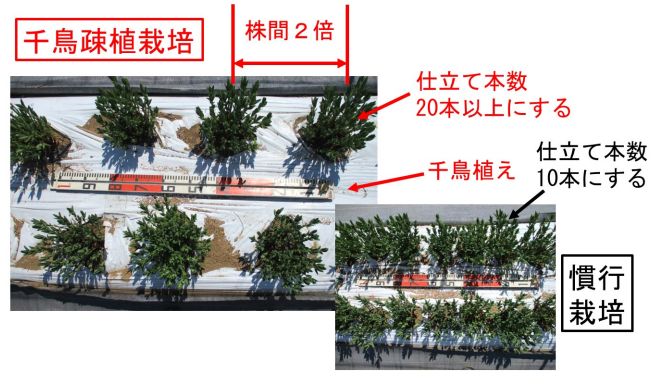


図1 千鳥疎植栽培（左上）と慣行栽培（右下）の萌芽状況

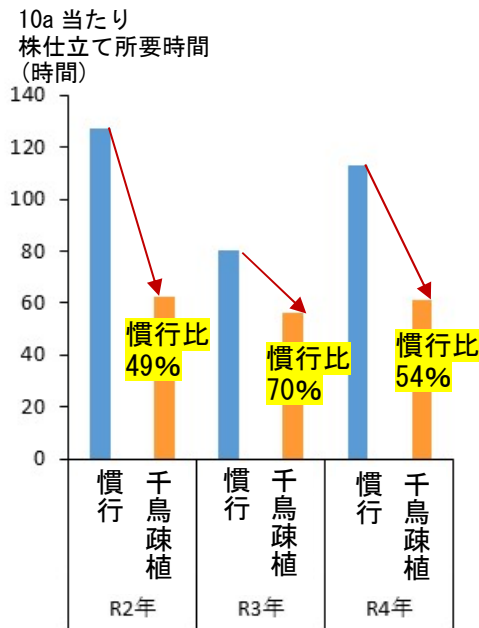


図2 千鳥疎植栽培と慣行栽培の株仕立て時間

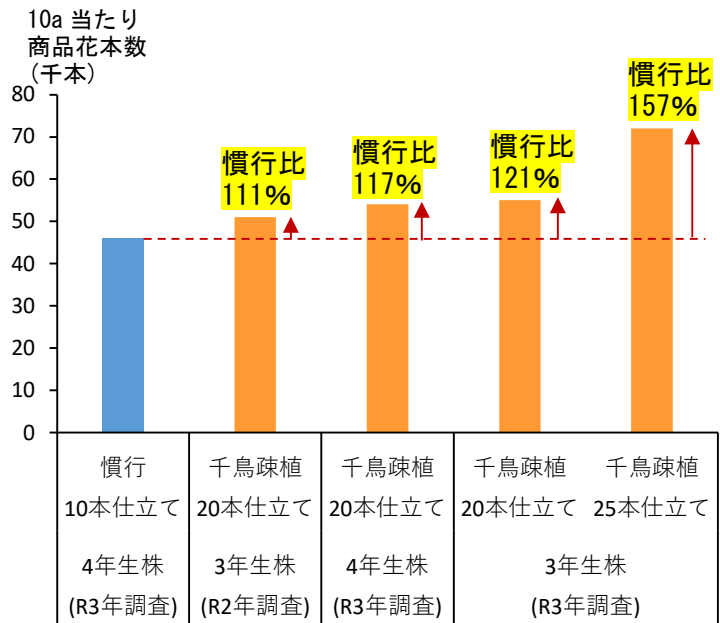


図3 千鳥疎植栽培と慣行栽培の商品花本数

### 【2 留意事項】

- (1) 千鳥疎植栽培は、定植株数が半減するため、欠株が減収に直結します。したがって、特に株の成長過程にある定植1年目の栽培管理（病虫害防除、除草等）は丁寧に行います。
- (2) 千鳥疎植栽培は特許第 6881721 号に相当しますが、本県での利用に当たっての許諾申請は不要です。